

コメとれ〜る[®]



全国で「コメとれ〜る」を 使用された方々の声

使用は凄く簡単で、
種子を1日浸しておくだけで
収量アップしました。

作 付 13ha
主品種 ゆめぴりか

今回初めて「コメとれ〜る」を使用して、苗の段階での根の張りは良く、田植え後の分茎もスムーズで茎数確保も出来ました。登熟も良く、坪刈り成績でも慣行区と比べて70kgの増収となりました。



目黒 泰行様
(北海道美唄市)

作 付 6.4ha
主品種 ひとめぼれ

今年は、日照不足のため地域では、大幅減収の方が多かったですが、我が家では昨年より反収70kgも増加しました。高冷地の当地区でも初期の根張りが良く、有効茎数も十分確保でき、米作りの必需品になりました。



渡部 徹様・由美子様ご夫妻
(福島県猪苗代町)

作 付 12.5ha
主品種 ふさおとめ
コシヒカリ(2年連続使用)

当地区は、早場米地域で、これまで収量も不安定だったが「コメとれ〜る」を使用することで葉色も良くガッシリ苗で本田でも茎数確保も出来て今年の不作でも他と比べたら反収90kg程多く収穫出来ました。



関 秀典様
(千葉県いすみ市)

作 付 1.5ha
主品種 あきさかり

育苗期の根張りも良く、初期茎数も確保出来ました。生育途中では慣行区と比べ余り差を感じませんでしたが、収穫後にはくず米が少なく反収30kg以上の増収でした。今後も楽な「コメとれ〜る」は必需品です。



吉永 博明様
(徳島県阿波市)

作 付 2.0ha
主品種 ヒノヒカリ(2年連続使用)

「コメとれ〜る」を使用する様になってから、育苗時期の根張りや生育も前進化して田植え後の初期分茎も順調で穂や茎も太くなり倒伏にも強く昨年は、台風に見舞われましたがクズ米も少なく収量は、平並で大変満足しています。



中島 利治様
(熊本県鹿本町)

使用上の留意点

1. 「コメとれ〜る」への浸種時間は、24時間厳守をお願いします。
2. 低濃度では効果が低下しますので、規定濃度での厳守をお願いします。
3. 溶かした液の使用は、1回のみでお願いします。(複数回の使用は効果が低下します)
4. 未使用分や残肥は、湿気に注意して冷凍庫での保管をお願いします。
5. 「コメとれ〜る」の使用した液を処理する際は適正にお願いします。

取扱・販売

販売店

 **アグリ技研 株式会社**

〒839-0863 福岡県久留米市国分町1151-1
TEL: 0942-45-5800 FAX: 0942-45-5200
E-mail: fka@agurigiken.jp

米作り革命

コメとれ〜る[®]

資生堂の開発した水稲用特殊肥料(アオウミクサ発酵堆肥)



使用は
簡単です

コメとれ〜るを水に溶かして
1日浸しておくだけ!

「コメとれ〜る」の 特徴と期待される効果

1. 育苗時期の成長促進(根張りの良さ)
2. 田植え初期の茎数及び有効穂数の確保
3. 整粒歩合の向上・収量向上

育苗期の根張り(N農研)



(左)慣行苗・(右)コメとれ〜る処理苗

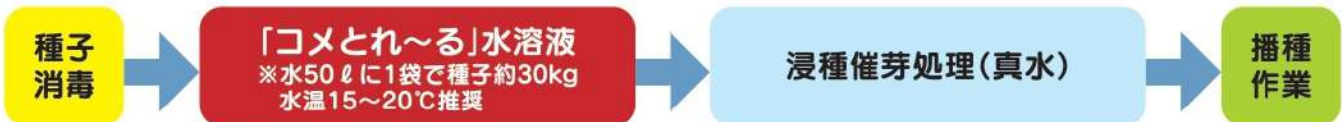
使用方法 水50ℓに1袋(75g)を溶かし、種子約30kgを24時間浸種します。

銅剤系(テクリードCF・モミガードCWなど)で種子消毒する場合



★銅剤系の場合は浸種催芽開始後、1~2日目に「コメとれ〜る」液に24時間浸種します。

温湯や微生物農薬系(タフブロック・エコホープDJなど)で種子消毒する場合



★種子消毒後に軽く水切りを行なって「コメとれ〜る」液に24時間浸種します。

石川県農林総合研究センターにおける2年連続試験成績

平成29年産	品 種	区 分	精玄米重(10a)	収量対比	穂数	登塾歩合	千粒重
	コシヒカリ	コメとれ〜る区	614kg	114%	468本/m ²	90.1%	22.6g
		慣行区	539kg	100%	417本/m ²	87.5%	22.2g
平成30年産	品 種	区 分	精玄米重(10a)	収量対比	穂数	登塾歩合	千粒重
	コシヒカリ	コメとれ〜る区	479kg	115%	362本/m ²	83.9%	22.7g
		慣行区	415kg	100%	344本/m ²	81.3%	22.5g

※精玄米重の振るい網目は、1.85mm